

各 位

会 社 名 共英製鋼株式会社
 代表者名 代表取締役社長 廣富 靖以
 (コード番号：5440 東証プライム)
 問合せ先 執行役員本社経営企画部長 増田 晶紀
 (TEL：06-6346-5222)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2024年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2025年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	336,000	17,500	18,000	12,500	287.63
今回修正予想 (B)	323,000	15,000	15,000	12,000	276.12
増減額 (B-A)	△13,000	△2,500	△3,000	△500	
増減率 (%)	△3.9	△14.3	△16.7	△4.0	
(参考)前期連結実績 (2024年3月期)	320,982	21,055	21,034	13,826	318.13

2. 修正の理由

第3四半期連結会計期間以降 (下期) の国内鉄鋼事業については、上期に続き、建設・物流現場における人手不足による工事の遅れなどから、建設用鋼材需要は低調に推移することが予想されます。一方、原材料である鉄スクラップの価格は当初想定を下回る水準で推移する見通しであることから、売買価格差の拡大により通期の業績は概ね計画通りに進捗するものと予想しています。

海外鉄鋼事業については、ベトナム拠点において鋼材需要は回復基調にあり、南部拠点では販売数量の回復や製造コスト削減策の奏功により黒字転換の目途が立ちつつありますが、北部拠点では中国の不動産不況の影響による競争環境の激化や製品市況の低迷が続いており、厳しい業績を見込んでいます。北米では、引き続き堅調な需要環境が継続する見通しで、カナダ拠点は市況の回復による出荷量の増加と、今春より販売を本格化している細物鉄筋の販売が好調であることなどから好業績を見込んでいますが、米国拠点はコスト削減などで業績の回復に努めているものの黒字転換には至らず、海外鉄鋼事業全体として計画を下回る想定です。

なお、2023年8月に発生した米国拠点の火災事故に係る保険金の残額を特別利益として計上する見込みです。

以上を踏まえ、通期の業績予想について、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上